

特別活動

目 次

1	特別活動改訂のポイント	1
2	特別活動の目標のポイント	3
3	学級活動の目標と内容のポイント	4
4	児童会活動の目標と内容のポイント	7
5	クラブ活動の目標と内容のポイント	9
6	学校行事の目標と内容のポイント	11
7	特別活動の指導計画作成上のポイント	12
8	指導例	13

1 特別活動改訂のポイント

(1) 改善の基本方針

- 特別活動と道徳、総合的な学習の時間のそれぞれの役割を明確にし、特によりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成を重視する。また、道徳的実践の指導の充実を図る観点から、目標や内容を見直す。
- 各内容に係る活動を通して育てたい態度や能力を、特別活動の全体目標を受けて各内容の目標として示す。
- 児童の自主的、自発的な活動を一層重視するとともに、発達や学年の段階、課題に即した内容を示すなどして、重点的な指導ができるようにする。その際、道徳や総合的な学習の時間などとの有機的な関連を図ったり、指導方法や教材を工夫したりする。
- 体験活動や生活を改善する話し合い活動、多様な異年齢の児童からなる集団による活動を一層重視する。特に体験活動については、体験を通して感じたり、気付いたりしたことを振り返り、言葉でまとめたり、発表し合ったりする活動を重視する。



改善のポイント

(ア) 学級活動について

- ・低・中・高学年ごとに、重点化を図って内容を示す。
 - ①学級や学校の生活づくり……自らよりよい生活を築くために合意形成をする話し合い活動や自分たちでルールをつくって守る活動などを一層重視する。自らよりよい学級生活の実現に取り組む意欲をはぐくむとともに、係活動や日常の清掃などの当番活動も計画的に指導できるようにする。
 - ②日常生活や学習への適応及び健康安全……いわゆる小1プロブレムなどの集団の適応にかかわる問題を重視し、よりよい人間関係を築くための社会的スキルを身に付けるための活動を効果的に取り入れる。小学校入学時には、幼児教育との接続、高学年では自己の生き方を取り上げるなど中学校における教育との接続に配慮して、指導の重点化を図る。

(イ) 児童会活動について

- ・よりよい学校生活を主体的に築くための話し合い活動や集団への寄与など、異年齢の児童からなる集団による自治的能力の育成を重視する観点から、具体的な内容を示す。

(ウ) クラブ活動について

- ・個性を伸ばし、異年齢の児童からなる集団による共通の興味・関心を追求する活動を通して、楽しい学校生活やよりよい人間関係を築く力の育成の充実を図る観点から、具体的な内容を示す。

(エ) 学校行事について

- ・自然の中での集団宿泊体験や異年齢交流なども含む多様な人々との交流体験、文化的な体験などを重視する観点から、学校行事の内容について改善を図る。

(2) 改訂の要点

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる教育活動であることをより一層明確にするため、「人間関係」を加えた。 ・道徳的実践の指導の充実を図る観点から「自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う」を加えた。 ・各活動・学校行事を通して育てたい態度や能力を目標として新たに示した。
各活動・学校行事の内容	<p>学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動を通して育てたい態度や能力について、新たに目標として示した。 ・低・中・高学年ごとに「内容」を示した。 ・いずれの学年においても取り扱う内容を「共通事項」として示した。活動内容(1)については、「学級や学校の生活づくり」と改め、「学校における多様な集団の生活の向上」を加えた。活動内容(2)「日常の生活や学習への適応及び健康安全」については、「清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」を加え、「学校給食と望ましい食習慣の形成」には「食育の観点を踏まえた」の文言を加えた。 <p>児童会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動を通して育てたい態度や能力を目標として示した。 ・新たに「児童会の計画や運営」、「異年齢集団による交流」、「学校行事への協力」の内容を示した。 <p>クラブ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動を通して育てたい態度や能力を目標として示した。 ・新たに「クラブの計画や運営」、「クラブを楽しむ活動」、「クラブの成果の発表」の内容を示した。 <p>学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事を通して育てたい態度や能力を目標として示した。 ・遠足・集団宿泊的行事の内容に「自然の中での集団宿泊活動など」と「人間関係など」を加えた。 ・「学芸的行事」を「文化的行事」と改め、「文化や芸術に親しんだりするような活動」を加えた。
指導計画の作成と内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「特別活動の全体計画」や「各活動・学校行事の年間指導計画」など各学校で作成すべき指導計画を明確に示し、指導計画の作成に当たって「各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図る」を加えた。 ・「道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、第3章道徳の第2に示す内容について、特別活動の特質に応じて適切な指導をすること。」を加えた。 ・学級活動、児童会活動、クラブ活動については、「よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動や自分たちできまりをつくって守る活動、人間関係を形成する力を養う活動などを充実するよう工夫すること。」を加えた。 ・学級活動については、「学級、学校及び児童の実態、学級集団の育成上の課題や発達の課題及び道徳教育の重点などを踏まえ、各学年段階において取り上げる指導内容の重点化を図るとともに、必要に応じて、内容間の関連や統合を図ったり、他の内容を加えたりすることができること。」、「学級経営の充実を図り、個々の児童についての理解を深め、児童との信頼関係を基礎に指導を行う」を加えた。 ・学校行事の実施に当たっての配慮事項として、「異年齢集団による交流」の充実、「体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫すること。」を加えた。

2 特別活動の目標のポイント

(1) 特別活動の目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

目標として、以下の5点を目指している。

- ① 望ましい集団活動の展開と望ましい集団の育成
- ② 個人的な資質の育成
- ③ 社会的な資質の育成
- ④ 自主的、実践的な態度の育成
- ⑤ 自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力の育成

(2) 特別活動の基本的な性格と教育的意義

特別活動は、複雑で変化の激しい社会での生き方などを体験的に学ぶ重要な場や機会として、学校教育において、望ましい集団活動や体験的な活動を通して、実際の社会で生きて働く社会性を身に付けるなど、児童の人間形成を図る教育活動である。特に、以下の3点を重要視している。

- ① 学校における集団活動や体験的な活動の一層の充実
- ② 「発達課題の達成」の理解に基づいた指導
- ③ 学校生活における集団活動の発達的な特質を踏まえた指導

ア 低学年

この時期の特別活動では、特に学級や学校における集会活動や係活動などを通してみんなと一緒に活動する楽しさを体感させたり、学級会において友達の意見をしっかりと聞くことの大切さを理解して話合いができるようにしたり、異年齢集団や学級内のグループでの活動を協力して行うことを通して個々の児童が望ましい人間関係を築く態度の基礎を身に付けることができるようにすることが大切である。

イ 中学年

この時期の特別活動では、望ましい集団活動や体験的な活動を通して、児童が協力し合って楽しい学級生活がつけられるようにするとともに、日常の生活や学習に意欲的に取り組めるように指導することも大切である。

ウ 高学年

この時期の特別活動では、望ましい集団活動を通して、男女が協力するなど、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活がつけられるようにするとともに、日常の生活や学習に自主的に取り組むことができるように指導することも大切である。

3 学級活動の目標と内容のポイント

(1) 学級活動の目標

学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

(2) 学級活動の内容

学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上、児童が当面する諸課題への対応に資する活動を行う。

[共通事項]

○ 「(1)学級や学校の生活づくり」

この活動の内容は、教員の適切な指導の下に、児童自らが楽しく充実した学級や学校の生活をつくっていくものである。

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

○ 「(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全」

この活動の内容は、日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関するもので、児童に共通した問題であるが、個々に応じて実践されるものである。したがって、児童の共同の問題として取り上げ、協力して実践する「(1)学級や学校の生活づくり」との違いを踏まえて、教員が意図的、計画的に指導する必要がある。

ア 希望や目標をもって生きる態度の形成

イ 基本的な生活習慣の形成

ウ 望ましい人間関係の形成

エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解

オ 学校図書館の利用

カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

(3) 学級活動の指導計画

学級活動の指導計画には、学校としての年間指導計画、学級ごとの年間指導計画や1単位時間の指導計画がある。

- 学校の創意工夫を生かすとともに、学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮し、児童による自主的、実践的な活動が助長されるようにする。
- 各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図るとともに、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。

- 特に配慮を要すること
 - ① 学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮し、児童による自主的、実践的な活動が助長されるようにする。
 - ② 各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図る。
 - ③ 家庭や地域の人々との連携などを工夫する。
 - ④ 児童が自ら現在及び将来の生き方を考えることができるように工夫する。
 - ⑤ 時間の配当や弾力的な時間の配分を工夫する。
- 年間指導計画の例（表中のア～キの記号は、(2)特別活動の内容の共通事項）



第3学年 学級活動 年間指導計画（例）

〈学年のねらい〉

- (1) 望ましい仲間集団を通して、学級生活を向上させるために学級内の諸問題を自分たちの手で解決していこうとする児童を育てる。
- (2) 日常生活に必要な行動の仕方を身に付ける活動を通して、学級の一員として、仲間と協力して楽しい学校生活を送ろうとする態度を育てる。

	月別題材例	学期別議題例	日常的に随時指導する内容
4月	◎3年生になって ア	・学級のめあてを決めよう ・係を決めよう ・お誕生日会の計画を立てよう ・遠足でのグループ遊びを考えよう	・身の回りの整理整頓 ・健康診断の受け方 ・給食のきまり ・安全な登下校 ・図書館利用のきまり
5月	◎事故のない暮らし カ	・雨の日の遊びを考えよう ・運動会のテーマを考えよう ・1学期の反省をしよう	・体を大切に ・上手なあとしまつ ・乗り物の正しい乗り方 ・読書の記録 ・遠足の約束
6月	◎言葉の点検 ウ		・プールでの約束 ・歯の健康 ・手洗い、歯磨きについて ・梅雨のときの生活
7月	◎めあてをもった夏休み カ		・清潔な体 ・かたよらない食事 ・海や川での水遊び ・夏休みの生活
	◎気持ちのよい言葉づ	・学級のめあてをもう一度考えよ	・生活のリズム

9 月 ○	かい イ	う ・生活発表会をしよう ・係を決め直そう	・楽しい食事
10 月 ○ ○	◎本の選び方・さがし 方 オ	・友達とのつきあい方について考 えよう ・学級オリンピックをしよう ・2学期の反省をしよう	・遠足のきまり ・目の健康 ・運動場での遊び ・避難の仕方
11 月 ○	◎正しい食事のマナー キ	・冬休みの過ごし方について考 えよう	・正しい姿勢 ・衣服の調整 ・文化の集いへの参加
12 月 ○ ○	◎男女なかよく ウ		・安全なストーブの使用 ・かぜの予防 ・耐寒駆け足のきまり ・冬休みの生活
1 月 ○ ○	◎きれいにそうじをす る工夫 エ	・係を決め直そう ・寒さに負けないように外遊びを 考えよう ・6年生を送る会のテーマについ て考えよう	・教室の空気と換気 ・うがい、手洗いの励行 ・男の子、女の子 ・雪道の登下校
2 月 ○ ○	○ ○	・一年間の反省をしよう	・友達との協力 ・冬の校内での過ごし方 ・避難の仕方
3 月 ○ ○	◎もうすぐ4年生 ア		・大きくなった体 ・6年生への感謝 ・春休みの生活

※ 月別題材例の○には、児童が主体的に決定する議題が入る。

○ 1 単位時間の指導計画



1 単位時間の指導計画は、一般的には、「学級活動指導案」と呼ばれているものである。この1 単位時間の指導計画については、学級活動の活動内容の「(1)学級や学校の生活づくり」と「(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全」のそれぞれの特質を踏まえて作成する必要がある。一般的には、次の表のような一連の活動過程にすることが大切である。

「学級や学校の生活づくり」及び「日常生活や学習への適応及び健康安全」の内容の特質に応じた「話し合い活動」の事前、事後等の一連の活動過程

	学級や学校の生活づくり	日常の生活や学習への適応及び健康・安全
事前の活動	<p>教師の適切な指導の下に、児童が次の活動を行う。</p> <p>①よりよい学級や学校の生活づくりにかかわる諸問題を見付け、提案をする。</p> <p>②協力して達成したり、解決したりする共同の問題(活動)を決めて、問題意識を共有化する。</p> <p>③目標を達成したり、問題を解決したりするために、全員で話し合うべき「議題」を決める。</p> <p>④話し合いの柱や順番など、話し合い活動(学級会)の活動計画を作成する(教師は、指導計画)。</p> <p>⑤話し合うことについて考えたり、調査したりして、自分の考えをまとめるなど問題意識をもつ。</p>	<p>教師が意図的、計画的な指導構想の下に次のようなことを行う。</p> <p>①年間指導計画において取り上げる題材についての学級の児童の問題の状況などを確認する。</p> <p>②個々の児童が共通に解決すべき問題として授業で取り上げる内容を決めて、児童に伝え、問題意識を共有化させる。</p> <p>③個々の児童が共通に解決すべき問題として「題材(名)」を決める。</p> <p>④導入、展開、終末の指導計画を作成し事前調査をしたり、資料を作成したりする(発達段階に即して児童の自主的な活動を取り入れるようにする)。</p> <p>⑤授業において取り上げる問題について自分の現状について考えたり、学級の現状を調べたりして問題意識をもつ。</p>
本時の活動	<p>話し合い活動 集団討議による集団目標の集団決定</p> <p>○協力してよりよい学級や学校の生活をつくるために集団として実践するための目標や方法、内容などを決める(提案理由の理解→意見の交換→多様な意見を生かしたよりよい集団決定をする)。</p>	<p>話し合い活動 集団思考を生かした個人目標の自己決定</p> <p>○自分の問題の状況を理解し、個人として解決するための目標や方法、内容などを決める(問題の状況や原因の把握→解決や対処の仕方などについて共に考える→自分としての解決方法などを自己決定する)。</p>
事後の活動	<p>○集団決定したことを基に、役割を分担し、全員で協力して、目標の実現を目指す。</p> <p>○活動の成果について振り返り、評価をする。</p>	<p>○自己決定したことを基に、個人として努力し、目標の実現を目指す。</p> <p>○努力の成果について振り返り、評価をする。</p>

(4) 学級活動の内容の取扱い

- 各学年段階において取り上げる指導内容の重点化を図る。
 - ア 学級の実態を踏まえる
 - イ 学級集団の育成上の課題を踏まえる
 - ウ 発達の課題を踏まえる
 - エ 道徳教育の内容との関連や道徳の重点を踏まえる
- 必要に応じて内容間の関連や統合を図ったり、他の内容を加えたりすることができる。
- 学級経営の充実を図る。
- 個々の児童についての理解を深め、児童との信頼関係を基礎に指導を行うとともに、生徒指導との関連を図るようにする。
- 話し合いの計画や係活動などを自主的に運営できるよう、児童の発達の段階を考慮した学級活動の組織を編成する。

4 児童会活動の目標と内容のポイント

(1) 児童会活動の目標

児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

(2) 児童会活動の内容

学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行う。

○ 児童会の計画や運営

この活動内容は、児童会活動の目標の実現に向けて、主として運営に当たる高学年が中心となって話し合い、児童会としての意見をまとめたり、計画を立案したり、運営に当たったりすることができるようにする。また、児童会活動においては、共通に自発的、自治的な活動の特質とする代表委員会や委員会活動はもとより、学級活動の学級会やクラブ活動なども相互の連携、協力を図って学校生活の充実と向上を図るようにすることが大切である。

○ 異年齢集団による交流

この活動内容は、児童が、児童会集会活動など学年や学級の異なる他者と共に楽しく触れ合い、交流を図ることによって、望ましい人間関係を深めるような異年齢集団による活動などが考えられる。

○ 学校行事への協力

この活動内容は、教員の指導によって、児童が学校行事の各種類の内容の特質に応じて、計画の一部を担当したり、児童会の組織を活用して学校行事の運営に協力したりする活動などが考えられる。例えば、学芸会や運動会、学年を超えて行う遠足や集団宿泊活動などの学校行事の一部を、児童の発意・発想を生かした計画によって実施したり、各委員会の活動内容を生かした協力的な活動を取り入れて実施したりすることなどである。

(3) 児童会活動の指導計画

- 学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮し、児童による自主的、実践的な活動が助長されるようにする。
- 各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図る。
- 家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。
- 学校の実態を踏まえて児童会活動の組織を編成する。
- 年間指導計画の作成

年間指導計画に示す内容としては、次のものが考えられる。

- | | |
|-------------------|------------------|
| ・学校における児童会活動の目標 | ・活動場所 |
| ・代表委員会、各委員会の組織と構成 | ・指導上の留意点 |
| ・活動時間の設定 | ・委員会を指導する教員の指導体制 |
| ・年間に予想される主な活動 | ・評価の観点 |
| ・活動に必要な備品、消耗品 | など |

○ 活動の形態

学校の全児童をもって組織する児童会において、その運営を主として第5学年及び第6学年の児童によって行うこと。

- ア 代表委員会 学校生活の充実と向上を図るために、学校生活に関する諸問題

	について話し合い、解決を図るための活動
イ 委員会活動	学校内の自分たちの仕事を分担処理するための活動
ウ 児童会集会活動	児童会の主催で行われる集会活動

- 児童会活動に充てる授業時数

代表委員会や各委員会ごとに話し合いをする時間を、月に1単位時間程度設けることや児童会が主催する比較的規模の大きい集会活動を学期に1・2回程度設けるなどの工夫が考えられる。集会に関する委員会が設けられている場合には、児童の継続的な活動を促進する上からも、特定の曜日の朝など短時間で実施できるよう工夫する。など

(4) 児童会活動の内容の取扱い

- 児童の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにする。
- 内容相互の関連を図るよう工夫する。
- 人間関係を形成する力を養う活動を充実する。

5 クラブ活動の目標と内容のポイント

(1) クラブ活動の目標

クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

(2) クラブ活動の内容

学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行う。

- クラブの計画や運営

教員が作成した指導計画に基づき年間や学期、月ごとなどに児童が活動計画を立て、役割を分担し、協力して運営に当たることができるようにする。また、所属するクラブ成員が、クラブの目標の実現に向け、異年齢の他者と話し合っってクラブとしての意見をまとめたり、計画を立案してその運営に当たったりする。「クラブの計画や運営」の活動を重視して指導する。

- クラブを楽しむ活動

興味・関心をより深く追求していく喜びや計画したことが実現できた満足感、学級や学年が異なる仲間と協力して活動を進めることができた喜びなどが実感できるように指導する。

- クラブの成果の発表

児童が、共通の興味・関心を追求してきた成果を、クラブの成員の発意・発想による計画に基づき、協力して全校の児童や地域の人々に発表する活動であり、運動会や学芸会などの学校行事や児童会全校集会などの場での発表、校内放送や展示による日常の発

表、そして年間の活動のまとめとして行う展示や映像、実演などの方法による発表など、学校の実態に応じて様々な機会を生かして発表の場を設定するようにする。

(3) クラブ活動の指導計画

- 学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮し、児童による自主的、実践的な活動が助長されるようにする。
- 各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図る。
- 家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。
- 次の点に配慮して、クラブ活動の組織を編成する。
 - ア 児童の興味・関心ができるだけ生かされる組織であること
 - イ 教科的な色彩の濃い活動を行うクラブ活動の組織にならないこと
 - ウ 学校や地域の実態に即した組織であること
- 年間指導計画の作成



年間指導計画に示す内容としては、次のものが考えられる。なお、クラブ活動における指導計画は、児童の自発的、自治的な活動を育てる基本的な枠組みであるから、その活動に先立って、児童と共に、一層具体的な活動計画を立てる必要がある。児童の手によって自発的、自治的に計画が立てられるようになると活動も活発になり、望ましい活動が展開されることが期待できる。計画段階から教員の適切な指導助言を欠かすことがないよう配慮する。

教員が作成する指導計画

- ・学校におけるクラブ活動の目標
- ・クラブの組織と構成
- ・活動時間の設定
- ・年間に予想される主な活動
- ・活動に必要な備品、消耗品
- ・活動場所
- ・指導上の留意点
- ・クラブを指導する教員の指導体制
- ・評価の観点 など

児童が作成する活動計画

- ・活動の目標
- ・各月などの活動内容
- ・準備する物
- ・役割分担 など

- クラブ活動に充てる授業時数

クラブ活動を通して児童の自主的、実践的な態度を育成するために必要な適切な授業時数を充てるとともに、時間割表に明確に位置付けて児童の興味・関心が持続し継続的に活動できるようにすることが大切である。

(4) クラブ活動の内容の取扱い

- 児童の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにする。
- 内容相互の関連を図るよう工夫する。
- 人間関係を形成する力を養う活動を充実する。

6 学校行事の目標と内容のポイント

(1) 学校行事の目標

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

(2) 学校行事の内容

全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験活動を行う。

○ 儀式的行事

学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行う。

入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、開校記念に関する儀式、着任式、離任式、朝会など。

○ 文化的行事

平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行う。

学芸会、学習発表会、作品発表会、音楽会、読書感想発表会、クラブ発表会、音楽鑑賞会、演劇鑑賞会、地域の伝統文化等の鑑賞会など。

○ 健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行う。

健康診断や給食に関する意識を高めるなどの健康に関する行事、避難訓練や交通安全、防犯等の安全に関する行事、運動会や球技大会等の体育的行事など。

○ 遠足・集団宿泊的行事

自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行う。

遠足、修学旅行、野外活動、集団宿泊活動など

特に、児童の発達の段階や人間関係の希薄化や自然体験の減少といった児童を取り巻く状

況の変化を踏まえると、小学校段階においては、自然の中での集団宿泊活動を重点的に推進することが望まれる。

○ 勤労生産・奉仕的行事

勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行う。

飼育栽培活動、校内美化活動、地域社会の清掃活動、公共施設等の清掃活動、福祉施設との交流活動など。

(3) 学校行事の指導計画

○ 学校の創意工夫を生かすとともに、学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮する。

○ 児童による自主的、実践的な活動が助長されるようにする。

○ 各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図る。

○ 家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。

○ 年間指導計画の作成

児童の実態や学校の事情などの諸条件が変化するにつれて、絶えず修正され、現実の事態に即応するように見直し、改められなくてはならないものである。特に学校行事の年間指導計画は、それぞれの行事が教育的価値を十分に発揮し、教育効果を高めることができるように、弾力性、融通性に富むものにする。

○ 学校行事に充てる授業時数

各学校が教育的な見地から適切に定める。小学校における教育課程全体を見通して適切な時数の配当計画を立てる。

(4) 学校行事の内容の取扱い

○ 各種類ごとに、行事及びその内容を重点化するとともに、行事間の関連や統合を図るなど精選して実施する。

○ 異年齢集団による交流、幼児、高齢者、障害のある人々などとの触れ合いを充実する。

○ 自然体験や社会体験などの体験活動を充実する。

○ 体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりする活動を充実する。

7 特別活動の指導計画作成上のポイント

(1) 特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画の作成

ア 全体計画に示す内容には、次のようなものが考えられる。

○ 特別活動の重点目標

○ 学校教育目標や指導の重点との関連

- 各教科、道徳（道徳の内容項目や道徳の重点）、外国語活動及び総合的な学習の時間などとの関連
- 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の目標と指導の方針
- 特別活動に充てる授業時数や設置する委員会、クラブ、実施する学校行事
- 学級活動の各内容に充てる授業時数
- 評価の観点など

特別活動と関連が深い朝の指導の時間、朝の会や帰りの会、日常的に行われている清掃や日直などの当番活動などについても、全体計画に示しておく。

イ 各活動・学校行事の年間指導計画の作成に当たって配慮事項

- ① 学校の創意工夫を生かす。
- ② 学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮する。
- ③ 児童による自主的、実践的な活動が助長されるようにする。
- ④ 各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習などの指導との関連を図る。
- ⑤ 家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。
- ⑥ 特別活動の授業時数については、学級活動の授業は、年間35週以上にわたって行うよう計画し、児童会活動、クラブ活動及び学校行事については、それらの内容に応じ、年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てるものとする。

* 特20ページ特別活動全体計画例を参照

(2) 入学式や卒業式などにおける国旗及び国歌の取扱い

入学式や卒業式などにおいては、その意義を踏まえ、国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう指導するものとする。

(3) 特別活動の評価

児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価し、指導の改善を行い学習意欲の向上に生かすようにする。

- 児童一人一人のよさや可能性を積極的に認める。
- 集団の発達や変容について評価し、指導に生かす。
- 具体的な評価の観点を設定し、評価の場や時期、方法を明らかにする。
- 活動過程についての評価を大切にするとともに、学級担任以外の教員とも共通理解を図って適切に評価できるようにする。

8 指導例

◆ 学級活動の指導例

【低学年】 共通事項(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全についての指導例

1 題材 上手なそうじ（第2学年）

2 題材設定の理由

児童は清掃しようという気持ちはあるが、上手く実行できない実態から当番活動の必要性や働くことの大切さに気付かせ、みんなの力で学校をきれいにしていこうとする実践意欲を高めたいと考え、本題材を設定した。

3 本時のねらい

当番活動の必要性や働くことの意義が分かり、進んで清掃活動ができるようにする。

4 本時の展開

児童の活動	指導上の留意点
1 清掃活動の様子をビデオ視聴する。	・ビデオを視聴し、清掃活動がうまくいっていないことに気付かせる。 資料：「清掃活動の様子」のビデオ
2 清掃がうまくいかない原因について話し合う。 ・清掃時間に遅れる。 ・道具の後始末ができていない。	・個人名をあげて指摘するのではなく、学級として何が原因で清掃がうまくできないのか話し合わせる。
3 効率的に清掃するための方法について考える。 ・ほうきや雑巾の使い方を見直そう。 ・清掃道具を班の友達と相談しよう。	・清掃ボランティアの方から、話を聞き、実践できる具体的な方法を考えるよう助言する。
4 自分のめあてを考え発表する。	・上手な清掃の仕方を考えて、具体的な場面の中で実行していくことを各自、カードに記入する。
5 先生の話聞く。	

5 指導上の留意事項

清掃活動を単に与えられた役割を果たすというだけの消極的な活動としてとらえるのではなく、みんなのために働く喜びに気付かせたい。そこで、学校や地域で清掃ボランティアに取り組む方から、ボランティアをするようになったきっかけや喜び、清掃道具の使い方などを聞き、具体的な実践方法を考えさせたい。

6 評価の観点

当番活動の必要性や働くことの意義が分かり、進んで清掃活動をしようとする意欲をもたせることができたか。

【中学年】 共通事項(1) 学級や学校の生活づくりについての指導例

1 議題 みんなが楽しめるスポーツ集会をしよう (第4学年)

2 議題設定までの経過

1学期に行った学級会では、計画委員会の段階で話合いの柱が絞り込めていなかったり、議題や提案理由の真意を全員が十分に理解しないまま学級会に臨んだりして、話合いがうまくいかなかったことがあった。また、1学期のお楽しみ会では、会を進める上での約束事や各コーナーでのルールが徹底されず、トラブルにつながることもあった。

そこで、朝の会や計画委員会の中で改善点を話し合い、事前アンケートやお知らせ掲示板の見直し等の意見を取り上げるなど、学級活動をみんなで盛り上げようという雰囲気高める取組を進めてきた。このような経緯の中で、きちんとルールを決めて集会をしたいという議題が提案され、取り上げられた。

3 本時のねらい

- ・学級のみんながルールを守り、楽しく活動できる内容や方法を考える。
- ・友達の意見をよく聞き、自分の意見をしっかり伝える。

4 本時の活動計画（児童が作成する活動計画）

議題	みんなが楽しめるスポーツ集会をしよう	提案者	〇〇〇〇
提案理由	1学期のお楽しみ会では、ルールがきちんと守れなかったので、学級のみんながルールを守って、楽しく遊んでみんながもっとなかよくなるために集会をしたいです。		
めあて	みんなが楽しめるような意見を出そう。		
役割	司会（〇〇、〇〇）	黒板記録（〇〇、〇〇）	ノート記録（〇〇）
	話し合いの順序	気を付けること	
1	はじめの言葉	・話し合いやすいように和やかな雰囲気をつくる。	
2	学級の歌	・元気よく歌う。	
3	司会グループの紹介		
4	議題の確かめ	・質問があれば発言する。	
5	提案理由の説明		
6	話し合いのめあてと柱①～③の確かめ	・みんなに伝わるようにはっきり言う。	
7	決まっていることの確かめ		
8	話し合い ①どんな内容にするか。 ②どんな係や役割が必要か。 ③集会を盛り上げる工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由に沿った内容になるようにする。 ・意見を整理しながら話し合いを進める。 ・適切な規模になるようにする。 ・楽しく順序よく活動するための役割を考える。 ・今までの集会での課題を確認する。 	
9	決まったことの確かめ		
10	先生の話		
11	終わりの言葉		

5 指導上の留意点

話し合いの柱①、③については、提案理由を意識して考えることができるようにする。

②については、全体のことを考えて役割が分担できるように見守りたい。また、友達の意見をしっかりと聞き、自分の意見をしっかりと伝えられるように意識させたい。

6 評価の観点

《集団》・議題や提案理由を意識しながら意見を聞き合い、意欲的に話し合いをすることができる。

《個人》・自分の意見を持ち、進んで発表したり役割分担に取り組んだりすることができる。

- ・友達の意見をよく聞き、楽しく活動できる内容や方法を考えることができる。

【高学年】 共通事項(1)学級や学校の生活づくりについての指導例

1 議題 2年〇組と交流会をしよう（第5学年）

2 議題設定までの経過

5年生の児童は、4月から、2年生の給食の片付けを手伝っている。日が経つにつれて、休み時間に2年生の様子をうかがいに行く5年生の姿や、5年生の教室に遊びに来る2年生の姿が増えてきた。このような経緯から、2年生ともっと親しくなりたいと本議題が提案され、取り上げ

られた。

3 本時のねらい

・友達の意見をしっかりと聞き、提案理由に沿って、2年生のことを考えながら話し合いを進める。

4 本時の活動計画（児童が作成する活動計画）

議 題	2年〇組と交流会をしよう	提 案 者	〇〇〇〇
提案理由	2年生ともっと仲よくなったら給食の手伝いも今より楽しくできるし、交流会をすれば2年生がよろこんでくれて学校がもっと楽しくなると思うから。		
め あ て	2年生が楽しめるような交流会の内容を考えよう。		
役 割	司会(〇〇、〇〇) 黒板記録(〇〇、〇〇) ノート記録(〇〇)		
1 はじめの言葉 2 議題の確認 3 提案理由の説明 4 話し合いのめあてと順序の確認			
話し合うことがら		予想される意見と気を付けること	準備物等
5 話し合い (柱)	※決まっていること ・〇月〇日〇曜日、〇校時に多目的室で行う。		アンケート 集計
① 交流会でどんなことをする か。	〔読み聞かせ、マジック、〇×クイズ、歌、じゃんけん大会…〕		
② 必要な役割と役割分担を どうするか。	※必要な時間を考えて出し物の数を決める。 〔司会、かざり、出し物の担当、はじめ・終わりの言葉…〕		
	※人数がかたよったときには、みんなで協力して交流会をすることを確かめて、移動してくれるようお願いする。		
6 決まったことの確認 7 振り返りカードの記入・発表 8 先生の話 9 終わりの言葉			

5 指導上の留意点

話し合いの柱①については、提案理由を意識して考えることができるようにする。

②については、どの役割も交流会には必要不可欠であることに気付くようにし、適切な人数配分になるよう見守る。

6 評価の観点

《集団》議題や提案理由を意識しながら、友達の意見をしっかりと聞いて意欲的に話し合いに参加することができる。

《個人》2年生のことを考え、楽しい交流会になるような内容を考えることができる。

◆児童会集会活動の指導例

1 活動名 〇〇小けんこうフェスタ

2 活動のねらい

- ・健康な身体や運動の習慣の大切さについて考えながら、異年齢集団で集会を楽しむことができる。
- ・全校生の願いを踏まえて計画を立て、自分の役割を意識し、見通しをもって活動することができる。
- ・児童が代表委員会や委員会活動を通して、話し合いをしたり協力したりして、組織として活動するよさを知ることができる。

3 本時に至るまでの経過

この集会活動は、遊びやスポーツをみんなで楽しむ中で、全校生が健康に関心を持ち、運動することのよさを感じてほしいという意見をもとに、運動委員会の総意として代表委員会に提案したものである。代表委員会では、運動委員会の児童が集会のねらいや意義を伝えて話し合いを進め、他の委員会も共同で企画・運営の役割を担うこと、実行委員を組織することなどの了承を全員一致で得ることができた。事前の準備として、他の委員会の児童もコーナーの運営に向けて休み時間に打合せや準備をしたり、児童会便りを発行したりして、進んで活動していた。

このような活動を通して、初めは進んで活動しにくかった集団が、自分たちの興味・関心に基づいて、自分たちの手で活動を創り上げていく集団へと変容しながら、「〇〇小けんこうフェスタ」の実施に至っている。

4 活動内容・プログラム

児童の活動	児童（主催者）が気を付けること
1 はじめの言葉	・チャレンジコーナーをめぐる順や約束などを確かめる。
2 集会の説明	
3 さわやか体操	
4 チャレンジコーナー開始	<ul style="list-style-type: none"> ・各コーナーでの説明やルールを確実に伝えるようにする。 ・各コーナーでの混み具合を見て、色別班を誘導する。 ・記録をチャレンジカードに正確に記入する。 ・補助が必要な場合やけが人がいるときは先生に連絡する。
①大なわジャンプ ②ハンドパワー ③マトニックス ④なるほど・ザ・健康 ⑤一気にPK ⑥あきかんタワー ⑦マッスルジャンプ ⑧さかだちタッチ ⑨ジェットシューズ	
5 成績発表	
6 おわりのことば	

5 評価の観点（評価の観点の対象… ★集会を主催する児童 ☆集会に参加している児童）

★進んで役割を果たそうとする意欲をもつことができる。

☆参加に意欲をもつことができる。

★みんなのがんばりをはげまし、ねらいに沿った活動をすることができる。

★コーナーの内容を分かりやすく説明することができる。

☆ルールを守って楽しく活動することができる。

★☆活動を振り返り、よかった点や問題点に気付くことができる。

〈参考資料〉

○クラブ別年間指導計画例

[ハンドクラフト] クラブ 年間指導計画		活動場所：図工室
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の計画や進め方について進んで話し合うことができる。 ・安全に気を付けながら道具を使い、工夫して作品作りができる。 ・教え合ったり助け合ったりして、協力して活動することができる。 	

予想される 主な活動	・組織づくり ・活動計画づくり ・作品製作 ・クラブ展示会 ・「ものづくり体験教室」 (講師：やまと熟練技能者)
指導上の 留意点	・児童の発達の段階に応じて適切な助言を行い、児童の自発的、自治的な活動となるようにする。 ・計画や反省の話合いを十分に行い、児童の発意・発想を生かせるようにする。 ・児童の発意を生かした体験教室になるよう、やまと熟練技能者の方との連絡を十分に行う。
評価の観点	・活動の計画や進め方などを、意欲的に考えているか。 ・安全に留意し、工夫して創作活動をしているか。 ・自分の役割や責任を考え、互いに声をかけ合いながら協力して活動しているか。 ・クラブ活動の進め方や組織づくりについて理解できているか。

○クラブ活動の展開例

<p>[ハンドクラフト] クラブ ○月○日 「ものづくり体験教室」に参加しよう</p> <p>活動の目標 ・やまと熟練技能者の方にもものづくりの楽しさ教えていただき、工作・工芸に対する関心をさらに高める。 ・やまと熟練技能者の方の技能の高さに触れ、職人の仕事に対する理解を深める。</p>	
児童の活動	指導上の留意点
1 出席の確認(副クラブ長)と本時の活動の説明(クラブ長)をする。	・本時の活動内容を知り、見通しをもって活動が進められるようにする。
2 歓迎の言葉(クラブ長)を述べ、熟練技能者の方にごあいさついただく。	・活動への意欲がもてるような「歓迎の言葉」になるよう助言する。
3 のこぎりややすりなど、木工工作に使用する工具の基本的な使用方法を学ぶ。	・重要な点を児童が理解しやすいように、熟練技能者の方の説明補助をする。
4 グループに分かれてレターケースを製作する。	・安全に気を付けて作業できているか確認しながら机間指導をする。
5 感想を交流し、お礼の言葉を述べる。	・熟練技能者の方に感謝の気持ちを伝えることで、今後の活動に対する意欲につなげられるようにする。
6 活動の振り返りをする。	・学年の枠を超えて友達のよいところを見付けたり、自分がかんばった点を振り返ったりできるようにする。
7 後片付けをする。	・全員で協力して安全に行えるように助言する。

○学校行事の計画例

内 容	文化的行事	行事名	〇〇小祭り	参加学年	全学年
期 日	〇月〇日〇校時	場 所	体育館	実施時間	2時間
ね	〇 日常の学習活動の成果を生かし、発表することを通して、表現力・鑑賞力を高め				

ら い	豊かな心情を育てるとともに、学校生活を楽しくしようとする態度を養う。 ○ 友達と協力し助け合うことを通して、相互理解を図り、児童会への所属感を深め連帯意識を高める。	
	活動の内容	指導上の留意点
事前	1 児童会活動の組織を生かしてテーマづくりや役割分担・当日の係を決める。 2 日常の学習活動の成果を生かし練習や準備をする。 3 保護者、地域の老人会・障害者施設へ児童手作りの案内状を送る。	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ児童に任せる内容を職員間で共通理解の上、児童の発表意欲を尊重し、できるだけ自主的な運営となるように配慮する。 ・各教科等、日ごろの学習の成果を総合的に発展させ発表するため、練習や準備に時間をとり、児童に過重な負担をかけないように工夫する。
当日	1 児童入場 2 プログラム (1) はじめの言葉 (児童) (2) PTA会長あいさつ (3) 全校発表 ①群読「おまつり」 ②歌 「もみじ」「カントリーロード」 (4) 学年発表 ①5年 劇 「でっけえ大根」 ②3年 音楽劇「つり橋わたれ」 ③1年 音楽劇「くじらぐも」 ④ヒットパレードクラブ 合奏 ⑤2年 音楽劇「えいっ」 ⑥4年 合唱 「怪獣のバラード」 ⑦6年 狂言 「附子(ぶす)」 (5) 校長先生のお話 (6) 終わりの言葉 (児童) 3 児童退場	<ul style="list-style-type: none"> ・静かに入場させる。(1年生は体育館入口で待機) ・〇〇小祭りのテーマを大切に互いに協力し、助け合って発表することを確かめる。 ・1年生のおみこしを全校児童の元気なかけ声で迎えさせるようにする。 ・発表前後には拍手し、互いの努力をたたえる。 ・発表の見どころや聞きどころを司会で述べ、発表を盛り上げるようにさせる。 ・活動の中で、頑張っていたことや協力しながら進めていたよさを認める。
事後	1 これまでの活動を振り返る。(各学級で)	・各自のめあてにそって活動できたか、よかった点や気が付いたことを発表させる。

【資料】

特別活動全体計画例

〇〇〇〇小学校

地域社会 児童の実態	《 学校教育目標 》 『人間性豊かで、たくましい児童を育てる』教育の実践	生徒指導・各教科 道徳・その他教育活動
---------------	---	------------------------

特別活動の目標
望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

本校の特別活動の重点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の自治的・自発的な活動を促し、望ましい集団活動を通して創意や工夫を生かしてみんなで楽しく豊かな学校生活を築こうとする実践的な態度を育てる。 ○ 個々の願いを出し合い、励まし合って活動することを通して、個性の伸長を図り、心身の調和のとれた発達を促し、社会性を育てる。 ○ 様々な集団活動を通して、健康・安全への理解を深め、望ましい生活態度を育てる。

学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
評価の観点	評価の観点	評価の観点	評価の観点
話し合いや係の活動等を進んで行い、学級生活の向上やよりよい生活を目指し、諸問題の解決に努めている。	委員会の活動を進んで行ったり集会に参加したりして、学校生活の向上や集団のためを考え、自己の役割を果たしている。	自己の興味・関心を意欲的に追求し、協力して課題に向けて創意工夫して取り組んでいる。	全校や学年の一員としての自覚をもち、集団における自己の役割を考え、望ましい行動をしている。
指導の方針	指導の方針	指導の方針	指導の方針
教員の適切な指導のもとに児童の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにする。	委員会等の運営を通して、高学年が学校のリーダーとしての役割を果たせるようにする。	異年齢集団での活動の中で、望ましい人間関係を形成する能力を養う。	異年齢の交流等を含む多様な人々との交流体験、文化的な体験を柱として適切な時数を充てる。
内 容	内 容	内 容	内 容
①学級や学校の生活づくり ・学級や学校における生活上の諸問題の解決 ・学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ・学校における多様な集団の生活の向上 ②日常の生活や学習への適応及び健康安全 ・希望や目標をもって生きる態度の育成 ・基本的な生活習慣の形成 ・望ましい人間関係の形成 ・清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解 ・学校図書館の利用 ・心身ともに健康で安全な生活態度の形成 ・食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 ○活動の形態 話し合い、係や集会活動	①代表委員会（随時） ・話し合いの活動 ・諸問題の解決を図る活動 ②委員会活動 ・対象…5、6年生 ・定例活動…月1回 月曜日第6校時 ・委員会の種類 ◆運動委員会 ◆掲示委員会 ◆集会委員会 ◆放送委員会 ◆美化委員会 ◆読書委員会 ◆健康委員会 ◆飼育委員会 ③児童会集会活動 ・形態…全校児童集会 ・内容…活動の計画や内容についての協議、集会活動の運営	○活動内容 ・計画、運営についての話し合い活動 ・共通の興味・関心を追求する活動 ・活動の成果を発表する活動 ○対象…4年生以上 ○活動時間…月3回程度 月曜日第6校時 （年間20時間） ○クラブの種類 ◆ミュージック ◆パソコン・イラスト ◆ハンドクラフト ◆ボランティア ◆囲碁将棋オセロ ◆バドミントン ◆バスケットボール ◆卓球 ◆サッカー ◆ソフトボール ◆ドッジボール	①儀式的行事 始業式、入学式、離着任式、卒業式予行、卒業式、修了式 ②文化的行事 芸術鑑賞会、〇〇小祭り、心をつなぐ集会、人権作文発表会 ③健康安全・体育的行事 健康診断、避難訓練、大掃除、体力テスト、プール開き、運動会予行、運動会、持久走大会 ④遠足・集団宿泊的行事 遠足、臨海学習、修学旅行 ⑤勤労生産・奉仕的行事 校内美化活動、除草作業、学年園活動、クリーンハイキング

○学級活動の年間題材一覧表例（全学年）

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
	希望や目標をもって生きる態度の形成	基本的な生活習慣の形成	望ましい人間関係の形成	清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解	学校図書館の利用	心身ともに健康で安全な生活態度の形成	食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	その他の内容
1年 生	・1年生になってこまっていること ・もうすぐ2年生	・学校の一日 ・話し方と聞き方 ・気持ちのよい返事	・新しい友と先生 ・みんながよし	・そうじのしかた	・本を大切に	・トイレの使い方 ・楽しいプール ・安全な避難 ・大切な体 ・誘いのらない	・楽しい給食	・楽しい遠足 ・もうすぐ夏休み ・楽しい運動会 ・楽しい冬休み
2年 生	・2年生になってみんなの願い ・もうすぐ3年生	・上手な話し方 ・聞き方 ・忘れ物をなくす工夫 ・明るいあいさつ	・大切な命 ・みんなでなかよく	・上手なそうじ	・本の借り方や返し方	・学校の行き帰り ・避難の仕方 ・大きくなった体 ・プールでの約束 ・上手な歯磨き	・じょうぶな骨をつくろう	・楽しい遠足 ・元気な夏休み ・力を合わせて、運動会
3年 生	・3年生になって楽しい学習 ・もうすぐ4年生	・忘れ物をしないために ・正しい言葉づかい	・友達のよいところ ・男の子、女の子	・私のできること	・本の選び方や探し方	・事故のないくらし ・寒さに負けない、じょうぶな体	・考えて食べよう「おやつ」	・楽しい遠足 ・夏休みを健康に ・運動会を楽しく ・冬休みの過ごし方 ・クラブ見学
4年 生	・4年生になって学習の工夫 ・5年生に向けて	・学校生活に必要な持ち物	・家族の役割 ・友達とのつきあい	・見直そう、当番活動	・読書の楽しみ ・資料の探し方	・じょうぶな歯 ・私たちの成長	・栄養と健康	・楽しい遠足 ・お金の使い方 ・力を合わせた運動会 ・委員会活動への参加
5年 生	・5年生になってもうすぐ最高学年	・自分の生活を見つめて ・服装と言葉づかい	・友達の呼び方 ・男女の協力	・高学年の役割	・図書館の利用の仕方	・自転車の正しい乗り方 ・大人になる体	・栄養のバランスを考えよう	・楽しい野外活動 ・運動会に向けて
6年 生	・自主的な学習 ・もうすぐ中学生	・最高学年としての自覚	・なかまについて考えよう ・異性の友達	・みんなの力で	・本は友達、読書の習慣	・安全な生活、性被害の防止	・感謝して食べよう	・思い出に残る修学旅行にしよう ・自分たちで創り上げる運動会

— 作成委員 —

前村義照	香芝市立二上小学校	校長
今谷哲夫	天理市立西中学校	校長
松室明夫	桜井市立桜井南小学校	教諭
吉野隆博	香芝市立下田小学校	教諭
遠藤孝晃	葛城市立新庄小学校	教諭
武田厚四	生駒市立生駒北中学校	教諭
高島智春	奈良県立教育研究所	研究指導主事
椿隆一	奈良県教育委員会事務局学校教育課	指導主事

(作成委員の職名等は平成21年度のものである。)

